

発達障害のある生徒の

# よき理解者・支援者となるために

富山県教育委員会

2019年3月発行

こんなことで悩んでいませんか…？



このような行動の原因としては、本人の努力だけでは解決できない困難さ（特性）が、深く関係していることがあります。

もしかしたら、「発達障害」が原因かも。

# 発達障害って、どんな障害…？

## 医学での とらえ方

生まれつき、または生育途中で、脳（中枢神経系）の機能に何らかの障害があり、神経回路がうまく機能しないと

認知・言語・社会性・  
運動などの発達が  
さまたげられます

## 発達障害のそれぞれの特性は？また、それぞれの障害との関連は？

### 学習障害 (LD)

=Learning Disabilities=

基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を示すもの

- 基礎的学習の困難
  - ・読字障害…逐語読み、行を飛ばす
  - ・書字障害…鏡文字、バランスの悪い文字
  - ・算数障害…計算、文章問題に困難さ
- 行動面の困難
  - ・社会性認知…対人関係の困難さ
  - ・運動のコントロールの困難さ・注意集中の困難さ

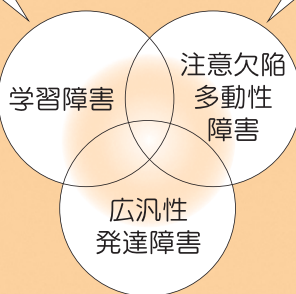
### 注意欠陥多動性障害 (ADHD)

=Attention Deficit Hyperactivity Disorder=

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの

- 基礎学習の困難
  - ・視覚、聴覚などの刺激（情報）に過敏に反応するために、学習に集中できない
- 行動面の困難
  - ・不注意…うっかりミス、集中力が短い
  - ・衝動性…思いついたらすぐ行動に移す
  - ・多動性…じっとしていることが苦手、離席

### 他の障害との関連図



それぞれの障害は、いくつか同時に現れることもあります。

## 自閉症・アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害

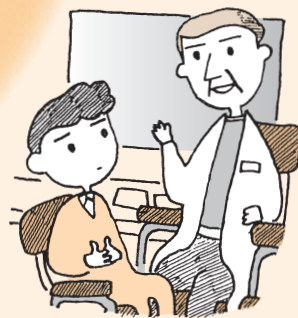
### 自閉症

言葉の発達の遅れ、コミュニケーションの障害、対人関係、社会性の障害、パターン化した行動、こだわりなどの特徴をもつ障害です。最近では、自閉症スペクトラムと呼ばれることもあります。

### アスペルガー症候群

広い意味での自閉症に含まれる一つのタイプで、コミュニケーションの障害、対人関係、社会性の障害、パターン化した行動、興味、関心のかたよがりがあります。自閉症のように、幼児期に言葉の発達の遅れがないため、障害があることが分かりにくいのですが、成長とともに不器用さがはっきりすることが特徴です。

- 他人との社会的関係をつくることの困難さ
  - ・暗黙のルールが分からない
  - ・同年齢の相手と波長が合わない
- コミュニケーションの困難さ
  - ・一方的で分かりにくい
  - ・言葉の裏の意味や相手の表情の読み取りが苦手
- 強いこだわり（物、人、場所）
  - ・行動パターンが決まっている
- 感覚が過敏



- それぞれの障害は、「特性」を示す総称で「病名」ではありません。
- 薬で治す「病気」ではありません。その人が一生付き合っていく「特性」です。
- 特性によって、社会生活を送る上で「支障や不都合」が生じるようであれば、「障害」があると診断されます。
- たとえ診断名が同じであっても、一人一人の特性の現れ方は異なります。
- 「特性」は本人の一部であって、すべてではありません。
- 成長段階における周囲の支援（関わり方）によって、本人の状態が大きく変化します。

問題の改善を図るには、周りの人が発達障害について知ることが必要です。

# 心理・教育的な理解

— 学習や学校生活の場面で見られるつまずきの背景 —

## 教育での とらえ方

### つまずきのポイント1

●基礎学習の困難さは認知のつまずきです。見て理解する、聞いて理解するなど、見分ける力や聞き分ける力が弱く、きちんと情報処理ができないのです。

### つまずきのポイント2

●行動及びコミュニケーションでの困難さは、社会についての認知、他人の行動の意味、周囲の状況や出来事を自分と関連させて理解する社会的認知のつまずきです。

## 認知(情報処理過程)

外部刺激  
情報  
声・光・音  
など

### 〈受容機能〉

#### 知覚する

・視知覚  
・聴知覚  
・触知覚  
・運動知覚 など

### 〈統合機能〉

#### 考えをまとめる

・記憶・保持  
・再生・思考  
・イメージ  
など

### 〈表現機能〉

#### 表現する

・書く・描画  
・読む・言葉  
・運動・動作  
など



読み言葉・書き言葉・計算などの問題は、受容機能の不全が影響しています。

視知覚系に困難が生じると

聴知覚系に困難が生じると

### ●視知覚の「図と地」の知覚でつまずく

多くの方は文章を読むとき、「注目したい文字(図)」に焦点を当て、「他の文字(地)」は意識の外に置いています。

この認知に困難があると、文章を読むとき、文字が浮かび上がりません。うまく文字を取り出せないで文字が追えず、文章や行の飛ばし読みが生じます。

### ●空間の位置と方向、空間関係の認知でつまずく

文字を構成する線の方向や線と線との位置関係が見分けられず、よく似た文字を読み間違ったり、漢字の線の数を間違ったりします。

文字と文字、行と行の位置がどんな関係にあるのか分からないと、筆算の時に桁がずれて計算を間違ったり、黒板を写すことにも困難が生じます。

### ●社会性の弱さでつまずく

人間関係やその場の状況把握の困難につながります。「自分と他人を区別して知る」(社会的な認知)が弱いため、相手の表情や場の雰囲気や情報を捉えられず、言葉の表面的な意味だけで行動することが考えられます。コミュニケーションの困難さにもつながります。

### ●聴知覚の「図と地」の知覚でつまずく

多くの方は話を聞くと、「聞きとりたい声(図)」に焦点を当て、「いわゆる雑音(地)」は意識の外に置いています。

この認知に困難があると、聞き取りたい声と雑音が同じ強さに聞こえてくるので、苦痛に感じることもあります。また、授業での説明や集団での指示が聞き取れないことが生じます。

### ●音を聞き分ける「聴覚弁別」でつまずく

聴覚弁別の困難が加わると、似ている音声を聞き間違えることが多くなります。ことば中心の一斉授業では、聞き取れず理解できなかったり、指示された言葉の意味が理解できなかったりします。周囲の動きを見て行動するので、集団行動にも遅れがちです。

### ●「短期記憶」や「聴覚的記録」でつまずく

関連する言葉を含めて記憶する力の弱さが加わると、指示されたことを何度も聞き返します。また、一度に複数の用事を頼むと、実行できません。

話を聞くと、言葉の情報を過去の経験と照らし合わせて思い浮かべることの弱さが、影響しています。

## 《発達障害について知る》

一番苦しみ悩んでいるのは、生徒自身です。生徒の立場に立ち、「どんなことにつまずいているのか」「なぜ、問題行動が起きたのか」などを考えることが、発達障害について知るこの第一歩です。



## 二次障害発生の要因と背景

●自己コントロールの弱さ、対人関係での社会性の弱さと、周囲の間違った障害理解が摩擦を生じさせます。

●本人の「行動の特性」が周囲とトラブルを引き起こし、悪循環の関係を生みだします。

●その結果、自信や意欲をなくしたり、自己評価が低くなったりして、不適応が進行し、二次障害が生じます。

### 二次障害の起きるメカニズム

不登校  
中途退学  
ひきこもり  
ニート

#### 本人の心

不確実感・自尊感情の低下

- ・不安感情
- ・自信喪失
- ・人間不信
- ・疎外感
- ・反抗的な言動

#### 周囲の問題性

- ・固定観念
- ・間違った障害理解
- ・誤解による叱責
- ・からかい、無視

#### 摩擦

悪循環の関係を  
生む

#### 本人の特性

- ・社会性認知の弱さ
- ・行動の特異性

#### 失敗経験

二次障害を解決するためには、大変なエネルギーを必要とします。  
二次障害が現れる前に適切な支援を行い、予防することが大切です

## 支援の第一歩は、生徒の行動を理解すること

「行動」には必ず「背景」があります。

一見「問題に見える行動」は、自分を守るため、周囲との関係を保つために行ってきた「誤学習の結果」です。

生徒のぎこちない自己表現で発する「サイン」に気づき、その背景を探ることが大切です。

日常的な「気づき」「特性の理解」「可能な支援の発見」が必要です。

### 困ったときの相談先 ●教育相談

- ・高等学校巡回指導員（県立高等学校対象）が教員への指導助言や本人・保護者との相談を行っています。
- ・県内の特別支援学校15校には、教育相談部や地域支援部などが設置され、高等学校への相談支援も行っています。
- ・富山県総合教育センター 教育相談部 特別支援教育担当

☎(076) 444-6351

### シリーズ2「対応編」の内容

- 発達障害への対応
- 支援の実際
- 校内支援体制の整備
- 保護者との連携